

サンサンネットeレッドの効果確認試験

JA道央

中村 公彦



設置状況



設置状況

試験目的

サンサンネットeレッドの効果確認試験

試験作物 及び品種

ミニトマト

試験資材 及び数量(規格)

サンサンネットe-レッド(0.8mm×135cm×60m) 2本

慣行資材

防虫ネットなし

栽培方法

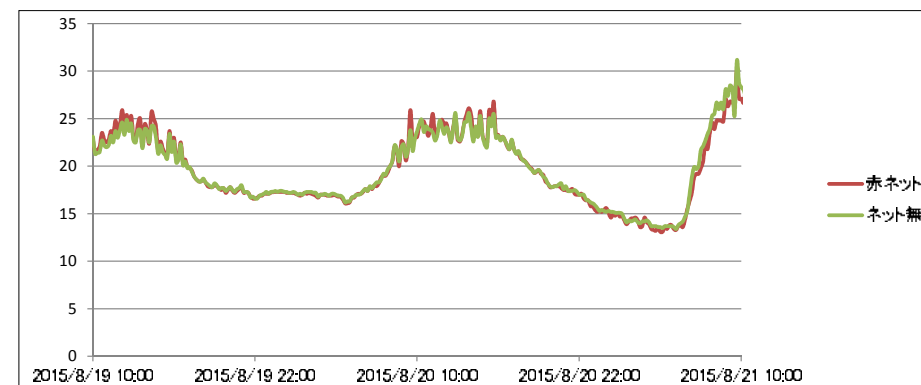
定植日	収穫日
慣行区:5月20日 試験区:5月20日	慣行区:7月中旬 試験区:7月中旬

資材使用期間

5月～9月

試験区面積

420㎡



試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

特に問題はなかった。防虫ネットを付けることで、ハウス横の草が取りづらくなった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

防虫ネット使用区は生育は若干良い傾向があった。病害の発生についても、慣行とほぼ変わらなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：本年は、スリップスが少発生のため、効果が確認できなかった。農薬削減によるコストメリットがあれば、優位性はある。

【問題点】：防虫ネットなしと比較すると、ハウス内の温度が上昇するため、管理・収穫作業にやや難がある。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

資材の強度について、本年は問題なかった。但し、殺虫剤の費用削減を考えると3年以上の耐久性は欲しい。

(5)雑草・病害虫の発生について

本年はスリップスの発生自体が少なく、効果差は確認できなかった。

モニター感想

本年はスリップスの発生がなく、効果は判然としなかった。スリップスが多発した際の殺虫剤散布の費用と労力の削減効果があるかが重要であり、使用資材の

多発時の効果と耐久性が何年あるかが不明のため、本年の結果では判断できない。

ネット装着により風の抜けが悪く、ハウス内の温度が上昇するため、管理・収穫作業には若干難があった。

JA担当者の感想(北広島資材店 資材課 松崎 氏)

本年はスリップスの発生が少なく効果が確認できなかった。防虫ネットにより、ハウス内温度が上昇することが問題点となったことから、赤色の効果により、通常のネットよりも目を大きくできるのであれば、本資材の利点はあるのではないかと。

一方、生産者の感想のとおり、殺虫剤の費用に見合う費用対効果があるかが重要であり、普及にあたっては、継続して効果と耐久性を見る必要があると感じた。

今後の使用について

改良して欲しい。
今回の試験結果では、スリップスの発生が少なく耐久性も不明のため、判断がつかない。普及については、今後の事例の積み上げにより、費用対効果があるかどうかではないかと。

将来希望する資材について

ハウス側面の巻き上げ部を支持し、雨だれを防止する器具について、現在使用しているものの耐久性が少ない。鉄製など耐久性の高いものを開発して欲しい。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 クリーンシート

4 機能性マルチ

5 育苗資材

6 酪農資材

7 省力化資材

8 その他